

質の高いインフラパートナーシップのイメージ

- アジアのインフラ需要に応えるべく、各国・国際機関と協働。日本のODA等の経済協カツールを総動員するとともに、機能を強化したADBと連携して、今後5年間で約1,100億ドルの「質の高いインフラ投資」を行う。
- その際、民間部門の資金・ノウハウの更なる動員により、「質と量」の双方を追求する。

